

ふくい街角景気速報

(令和5年6月分)

調査期間 令和5年6月20日～27日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは51.7となり、前月と比べ1.9ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは53.1となり、前月と比べ0.2ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 51.7 (前月比 ▲1.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月と同水準であった。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

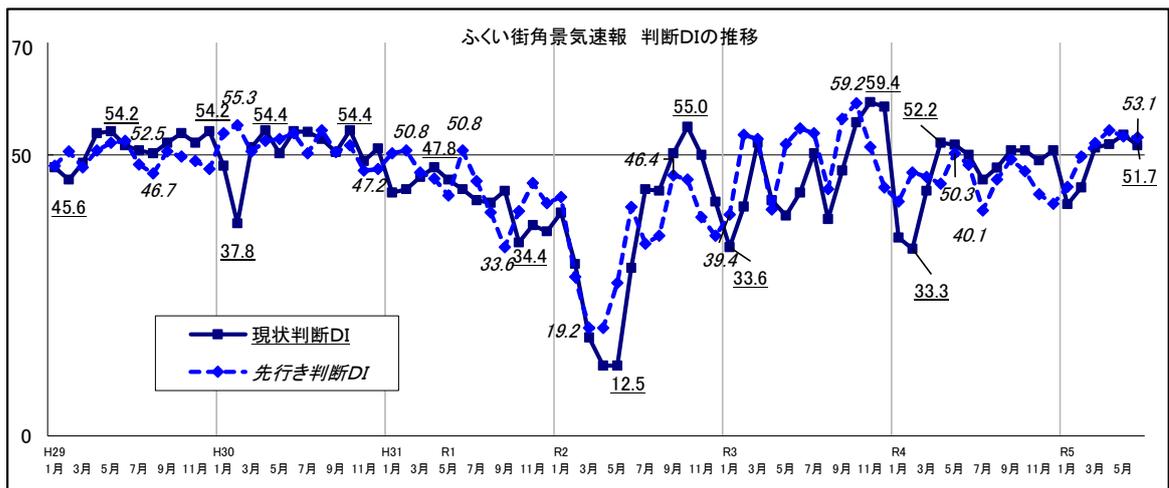
- コロナ5類移行・マスク任意化で消費者の消費マインドは積極的になってきているが、電気代の値上げなど日常生活に関する消費は慎重。(スーパー)
- 電気料金の高騰や物価高など、依然として状況が変わっていない。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 53.1 (前月比 ▲0.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ 1.1 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.5 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 10.4 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 今年の夏休みシーズンにはレジャーを含め人流が増加することを期待しているが、コスト面で高騰の影響が強くあり、収益の確保という面では厳しい。(観光関係)
- 物価・電気代高騰も終わりが見えず、企業からも積極的な投資、雇用計画等が見えてこない。(自治体労働政策担当課)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R5 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		41.2	44.2	51.3	51.9	53.6	51.7	▲1.9
家計動向関連		39.3	44.3	53.1	49.4	53.3	49.4	▲3.9
小売		39.5	41.9	49.2	43.1	48.3	44.8	▲3.5
飲食		33.3	41.7	70.0	75.0	75.0	62.5	▲12.5
サービス		41.7	52.3	56.8	56.3	56.8	56.3	▲0.5
企業動向関連		41.7	41.7	47.9	52.3	50.8	50.8	+0.0
製造業		41.3	40.4	48.0	53.1	50.0	47.9	▲2.1
非製造業		42.5	45.0	47.5	50.0	52.8	58.3	+5.5
雇用関連		47.9	52.3	54.2	60.4	62.5	62.5	+0.0

○回答別構成比

	年 月	R5 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		0.0%	1.1%	2.1%	4.4%	1.1%	0.0%	▲1.1
やや良くなっている		14.4%	18.9%	28.4%	27.8%	34.1%	31.1%	▲3.0
変わらない		44.3%	41.1%	46.3%	42.2%	44.0%	45.6%	+1.6
やや悪くなっている		33.0%	33.7%	18.9%	22.2%	19.8%	22.2%	+2.4
悪くなっている		8.2%	5.3%	4.2%	3.3%	1.1%	1.1%	+0.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R5 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		44.3	49.7	52.1	54.4	53.3	53.1	▲0.2
家計動向関連		46.9	51.0	52.1	54.4	52.2	53.3	+1.1
小売		45.2	45.2	50.0	52.6	48.3	48.3	+0.0
飲食		45.8	54.2	60.0	75.0	60.0	68.8	+8.8
サービス		52.1	65.9	54.5	52.1	59.1	60.4	+1.3
企業動向関連		40.3	47.9	50.7	52.3	50.8	52.3	+1.5
製造業		40.4	45.2	50.0	51.0	47.9	50.0	+2.1
非製造業		40.0	55.0	52.5	55.6	58.3	58.3	+0.0
雇用関連		45.8	50.0	56.3	60.4	64.6	54.2	▲10.4

○回答別構成比

	年 月	R5 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		0.0%	2.1%	4.2%	4.4%	4.4%	2.2%	▲2.2
やや良くなる		20.6%	33.7%	33.7%	30.0%	27.5%	23.3%	▲4.2
変わらない		41.2%	32.6%	30.5%	47.8%	48.4%	62.2%	+13.8
やや悪くなる		33.0%	24.2%	29.5%	14.4%	16.5%	8.9%	▲7.6
悪くなる		5.2%	7.4%	2.1%	3.3%	3.3%	3.3%	+0.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	5類に下がったことから、外出される人が増えてきた。飲食店でも大人数の宴会を見かけるようになった。	
		嶺南	一般小売店	売上が昨年より増え、来客も多くなっているため。	
		福井	飲食関連	会やイベント等が増えて、お客さんが増えてきた。	
		福井	観光関係	人流も回復傾向にあり、また団体での利用も増えている。コロナ前の8割程度になってきたが、物価高騰やエネルギーコストの上昇があり、リピーターは減少している。また、売上が上がっても収益に繋がっていない。	
		福井	観光関係	コロナ以前には戻っていないが、配車の件数は徐々に回復している。	
	企業 動向	福井	銀行等金融関連	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い人の流れが活発化し、個人消費は対面型サービスを中心に持ち直している。また、一部の製造業では半導体不足が解消傾向にあり、本来の生産体制に戻りつつある状況。	
		雇用	坂井	自治体労働政策担当課	エネルギー価格高騰の影響など企業経営の先の見通しは依然として悪いが、3ヶ月前よりは良くなっている印象を受ける。
			嶺南	労働相談員	労働相談件数が3月度より減っていることと、相談の内容が危機に迫ったものではなくってきている。
③変わらない	家計 動向	福井	一般小売店	コロナが5類に移行し、旅行やイベントに興味と資金が動いているように感じる。物価高騰も止まず、身の回り品の購入は抑えられている様子。	
		福井	百貨店、SC等	コロナの終息により、人の往来が増えている実感はあるものの、自分の仕事上、それを景気の上昇として実感することはない。	
		坂井	スーパー	コロナ5類移行・マスク任意化で消費者の消費マインドは積極的になってきているが、電気代の値上げなど日常生活に関する消費は慎重。	
		嶺南	観光関係	インバウンドは躍進しているが、日本人客の動きが戻らない。	
		坂井	観光関係	コロナも落ち着きつつあるが、県外へ移動する人も増えてきて期待以上には回復していない。	
	企業 動向	福井	一般機械関連	国内の商談・受注は低水準のままである。	
		丹南	電気機械関連	中華圏において少しずつ回復傾向にあると考えているが、受注が大きく変化していない。	
		福井	化学・プラスチック関連	電気料金の高騰や物価高など、依然として状況が変わっていない。	
		丹南	建設・不動産関連	受注及び売上高が微増。	
		福井	運輸関連	物量は前年比で落ち込んだままで推移している。	
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	生活習慣は従来の動きに戻りつつあるものの、物価や電気代等が高騰し、費用も増えているため、なかなか積極的な行動消費に繋がらない。	
		福井	ジョブカフェ担当者	ハローワーク福井管内では、令和5年1月以降求職者数は増加傾向にあり、今後も求職者数の増加が期待できる。	
	④やや悪くなっている	家計 動向	坂井	一般小売店	市場全般の価格値上げにより、消費者が節約傾向のため。
福井			百貨店、SC等	物価の上昇や北陸電力の値上げによる買い控えが会話から若干みられる。	
奥越			百貨店、SC等	昨年より客数が毎月落ちている。物価高で売上金額自体は同一水準だが、状況的には悪化している。	
福井			サービス業関連	お客様の購買意欲が下降気味である。	
企業 動向		福井	繊維関連	シーズン性もあるが、受注が減っている。	
		奥越	繊維関連	電力費の大幅値上げで、採算割れとなっている。	
		福井	商社	円安による仕入れ商品の高騰と需要の減少。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	坂井	観光物産関係	夏のお盆の時期が一番の繁忙期になり、5月の連休が期待したほどではなかったため、夏は期待している。
②やや良くなる	家計動向	嶺南	家電販売店	夏の繁忙期になるため。
		福井	飲食関連	夏のイベント等も今後コロナ関係なく開催される事になるので期待している。
		奥越	飲食関連	恐竜博物館がリニューアルオープンするため。
		坂井	観光関係	7月20日以降は夏休みに入り、繁忙期になるため。
	企業動向	福井	一般機械関連	業界の統計上は、現在が最低辺の受注で今後回復が見込まれる。
		福井	銀行等金融関連	物価高騰による消費者への影響など懸念材料はあるが、コロナ渦の終息・経済社会活動の正常化に向けた動きが加速すると期待され、対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが続くと思われる。
丹南		建設・不動産関連	今後、徐々に繁忙期になっていくため。今後の見積もり依頼も増えてきている。	
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	度重なる物価上昇で、一般消費者の購入行動が慎重である。
		福井	百貨店、SC等	消費マインド低下に繋がる外的要因などが特に今の状況から変わらないため。
		丹南	百貨店、SC等	物価や電気代の高騰、半導体不足による品不足など、景気が良くなる要素が見当たらない。
		坂井	スーパー	電気料の値上げの実感(請求)が湧いてくる時期。消費は慎重姿勢が続くと思われる。
		福井	サービス業関連	全体に売上高は上がるが、電気等の生活コストも上がり相殺される。
		福井	観光関係	今年の夏休みシーズンにはレジャーを含め人流が増加することを期待しているが、コスト面で高騰の影響が強くあり、収益の確保という面では厳しい。
	企業動向	奥越	繊維関連	価格転嫁も進まず、数量も変化なしのため、変わらないとした。
		福井	眼鏡関連	コロナが収まってきたようだが、一般小売店ではなかなか戻ってこない。
		福井	化学・プラスチック関連	電気料金の高騰や原材料価格の高止まりなど、取り巻く環境の見通しが不透明であるため。
		福井	運輸関連	足元の状況から判断し、回復の兆しが見えていない。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	物価・電気代高騰も終わりが見えず、企業からも積極的な投資、雇用計画等が見えてこない。
		嶺南	労働相談員	労働相談件数や内容から判断すると、件数は横ばい、内容は解雇などの問題は少なく、ハラスメントの相談が多いことから、景気はこのまま推移していくと感じる。
		福井	学校就職担当者	求人状況が分からないので、昨年並みとすればここ数か月は変化しないのではないかと考えている。
④やや悪くなる	家計動向	奥越	商店街	人口減や高齢化。
		奥越	一般小売店	物価高と光熱費高騰によるもの。
		福井	百貨店、SC等	電力の値上げが安定するまで買い控えが予測されるため。
	企業動向	丹南	電気機械関連	さらに円安が進む可能性がある。
		嶺南	その他製造関連	今年度の地元公共工事の減少。
⑤悪くなる	企業動向	福井	商社	燃料などの政府補助金の減額により、石油製品価格は高騰する。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問 1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問 2】

質問 1 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問 3】

将来の景気についての質問です。今後 2～3 か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問 4】

質問 3 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)